

西日本豪雨 緊急レポート

このたびの西日本を中心とする豪雨により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。ELV機構では、被害状況把握のため、7月6日から現在にかけて21府県の会員を対象に電話でのヒアリングを行いました。その結果や会員からの提供情報をまとめてご報告いたします。

ヒアリング21府県中、浸水被害6県、土砂被害1県

7月9日時点のヒアリング結果まとめ

	地 域	人的被害	浸水被害	土砂被害
1	岐阜県	なし	なし	なし
2	愛知県	なし	なし	なし
3	大阪府	なし	なし	なし
4	兵庫県	なし	なし	なし
5	奈良県	なし	なし	なし
6	京都府	なし	なし	なし
7	鳥取県	なし	×	なし
8	島根県			
9	岡山県	なし	×	なし
10	広島県	なし	×	×
11	山口県	なし	×	なし
12	徳島県	なし	なし	なし
13	香川県	なし	なし	なし
14	高知県	なし	なし	なし
15	福岡県	なし	×	なし
16	佐賀県	なし	なし	なし
17	長崎県	なし	なし	なし
18	熊本県	なし	なし	なし
19	大分県	なし	なし	なし
20	宮崎県	なし	なし	なし
21	鹿児島県	なし	なし	なし

広島県支部は次頁にて詳細を報告

■山陰ELVリサイクル協議会（鳥取県・島根県）

- ・一番高いときの浸水状況：足首以上の高さ
 - ・従業員の自宅で一部ライフラインに支障は出たものの、会社レベルでは問題なし。
 - ・通行止めなどもあり、物流はストップ状態。
 - ・鳥取県および島根県と災害時の支援協定を結んでいるが、現時点で支援要請はなし。
- 7月12日追加情報：土砂崩れの影響でJRはまだ全面復旧できておらず、岡山に通じる道路は復旧のめどが立っていない状態。

■岡山自動車リサイクル協同組合

- ・一番高いときの浸水状況：ひざ以上の高さ
 - ・倉敷市の真備町のほうは被害が大きいが、その周辺に会員はおらず、会員事業所に甚大な被害報告はなし。
 - ・営業困難とまでは行かないが、フォークリフト水没などの会社でも多少の被害はある。
- 7月12日追加情報：岡山市と災害時の支援協定を結んでおり、来週あたりに要請が来る可能性あり。

■日本ELVリサイクル機構山口県支部

- ・一番高いときの浸水状況：ひざ以上の高さ
 - ・岩国市の浸水被害が大きく、会社でもコピー機などの故障があったが、現在は復旧している。
- 7月12日追加情報：道路の寸断箇所も多く、高速道路の山陽自動車道は熊毛インター～岩国インターの2区間が無料開放中。

■北九州ELV協同組合

- ・一番高いときの浸水状況：ひざ以上の高さ
 - ・冠水車は大量に発生しているが、高速道路通行止めで他の道路が大混雑していて引取に行ける状況ではない。
 - ・北九州市の一部で土砂災害も発生したが、会員事業所に大きな被害はない。ただ、社員の通勤中に車が水没したという報告も入ってきている。
- 7月12日追加情報：まだ通行止めのところが多く、交通機関は麻痺状態。関東地方やそれ以北への出荷NGで会社としても大きな打撃になっている。

広島県支部、浸水で営業困難 1 社／土砂・浸水で在庫被害 2 社

ヒアリングした中でも特に被害の大きかった広島県支部。古谷一夫支部長より、会員の被災状況について以下のとおり報告がありました。人的被害はなかったものの、置き場の浸水・土砂崩れによる在庫被害が 2 社あり、営業困難な状態に陥った会社も 1 社ありました。

▼広島県支部会員の被災状況

	会社名	土砂崩れ	倒壊	水没	人的被害	通勤難	自家被害	詳細／備考
1	A 社	なし	なし	なし	なし	なし	なし	
2	B 社	なし	なし	なし	なし	× 1名	なし	
3	C 社	なし	なし	× 在庫被害	なし	なし	なし	車両置き場で浸水：在庫被害あり (十数台)
4	D 社	なし	なし	なし	なし	なし	× 少数名	自家被害：出社できない社員あり
5	E 社	なし	なし	なし	なし	なし	なし	
6	F 社	なし	なし	なし	なし	なし	なし	
7	G 社	なし	なし	なし	なし	なし	なし	
8	H 社	なし	なし	× 営業困難	なし	なし	なし	会社全体が浸水：在庫被害あり 事務機器・自社トラック・フォーク リフトの水没被害あり → 営業困難
9	I 社	× 在庫被害	なし	なし	なし	× 少数名	× 少数名	車両置き場で土砂崩れ：在庫被害あり 自家被害で出社できない社員あり 他にも通勤困難者あり

▼H社からの提供写真：浸水被害の状況（7月10日午後時点で復旧の目途が立ったとの報告あり）



2018/7/7 (土) 5:00頃 浸水約50cm



2018/7/7 (土) 17:00頃 浸水約1m

H社の周りは田んぼと道路に囲まれているそうですが、右上の写真では周囲はすべて水で覆われており、本来の周辺環境は確認できません。このような浸水被害によって営業困難な状態に陥っていたH社ですが、連日徹夜での復旧作業の甲斐あって、あと2～3日ほどで営業が再開できる見込みとの報告（7月10日午後時点）が入っています。

▼A社からの提供写真：会社付近の様子



▼C社からの提供写真：在庫被害の状況



A社からの提供写真は7月7日の朝8時頃に撮影したもので、右側の川の流れが激しく濁っている状態であることがわかります。あと少し水位が上昇していたら浸水は免れなかったという状況だったそうです。また、C社からの提供写真は車両置き場の浸水による在庫被害を写したものです。

▼古谷支部長からの提供写真：自宅付近のコンビニの様子



左の写真を見てもわかるとおり、コンビニでも品薄の状態が続いていたようですが、古谷支部長の近所のコンビニでは、7月11日ようやく商品が入ってきたそうです。ただ、ホームセンターでは給水のためのタンクや灯油ポリタンクの売り切れ状態が続いているとのこと。

道路は徐々に開通してきて、高速道路は上りか下りの車線の片側だけを対面通行で食品運搬車両、緊急車両、救助車両等限定で通しているようです。（7月11日時点）

▼古谷支部長からの提供写真：周辺地域の被害状況



ELV機構、西日本豪雨被害に関する相談窓口を設置

西日本豪雨被害相談窓口

一般社団法人日本ELVリサイクル機構 事務局

- メール jaera-homepage@elv.or.jp
- 電話 03-3519-5181
- FAX 03-3597-5171

ELV機構では、今回の豪雨被害に関する相談窓口を設置しました。お困り事やご相談などがございましたら、相談窓口までご連絡ください。

引き続き、被害状況に関する情報収集に努めてまいりますので、何か情報をお持ちの方はご提供をお願いいたします。

※危険※ 冠水したEV車・HV車の取り扱いには要注意！

冠水した電気自動車・ハイブリッド自動車は大変危険ですので、必ず以下のリンク先にある注意事項および各社のレスキューマニュアル等をご確認のうえ、取り扱いには十分ご注意ください。

▼損傷した電気自動車・ハイブリッド自動車等の取扱い時の主な注意事項

http://www.jarp.org/pdfs/information/manual_list.pdf?180531%22

【自再協からのお知らせ①】フロンボンベの集荷停止と返却遅延

今回の西日本豪雨の影響により、一部の地域にてフロンボンベ（パレット）の集荷と指定引取場所からのボンベ返却の配達遅延が発生している旨、自動車再資源化協力機構（自再協）から連絡がありました。くわしくは以下のリンク先をご確認ください。

▼フロンボンベの集荷停止と返却遅延について

http://www.jarp.org/pdfs/information/20180710_furon_infomation.pdf

【自再協からのお知らせ②】冠水車両のエアバッグ類は取外回収

車上作動処理委託契約事業者の皆様へ、自再協から連絡がありました。台風や豪雨等によって冠水した車両を車上作動処理した際、インフレーター等が破裂したり、通電後しばらく経ってから作動するなど、異常作動の報告があるそうです。作業者の安全確保や設備の損傷防止の観点から、「車室内に泥や砂等が残存していて明らかに冠水が認められる車両」「車内外が洗浄等をされ、冠水の痕跡が不明な車両」この2点に該当する車両は必ず取外回収をしてください。くわしくは以下のリンク先をご確認ください。

▼【車上作動契約業者向け】冠水車両のエアバッグ類は取外回収してください！！

http://www.jarp.org/pdfs/information/20180711_ab_information.pdf

ELV Newsletter Extra



日本ELVリサイクル機構 ニュースレター（ELV Newsletter）

《編集・発行責任者》日本ELVリサイクル機構 広報部会長 永田 則男

一般社団法人 日本ELVリサイクル機構 〒105-0004 東京都港区新橋3丁目2番2号

TEL: 03-3519-5181

FAX: 03-3597-5171

メール: jaera-homepage@elv.or.jp

H P: <http://www.elv.or.jp/>